

予 算 要 求 資 料

令和5年度当初予算

支出科目 款：民生費 項：児童福祉費 目：児童福祉諸費

事業名 感染症対策等相談窓口設置事業費

(この事業に対するご質問・ご意見はこちらにお寄せください)

健康福祉部 子ども・女性局 子ども家庭課 児童養護第一係

電話番号：058-272-1111(内3556)

E-mail：c11217@pref.gifu.lg.jp

1 事業費 921 千円 (前年度予算額： 1,250 千円)

<財源内訳>

| 区 分 | 事業費 | 財 源 内 訳 | | | | | | | |
|-----|-------|------------|------------|------------|------------|-----|-----|-----|------------|
| | | 国 庫 支出金 | 分担金 負担金 | 使用料 手数料 | 財 産 収 入 | 寄附金 | その他 | 県 債 | 一 般 財 源 |
| 前年度 | 1,250 | 1,250 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 |
| 要求額 | 921 | 460 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 461 |
| 決定額 | | | | | | | | | |

2 要 求 内 容

(1) 要求の趣旨 (現状と課題)

児童福祉施設等は、適切な感染防止対策を行った上での事業継続が求められているが職員は感染予防のための標準予防策を必ずしも習得しておらず、感染対策に関する不安や疑問等を抱えて業務にあたっている現状がある。

(2) 事業内容

- 新型コロナウイルス感染症の適切な感染防止対策等に関する相談窓口を設置し、児童福祉施設等の職員からの新型コロナウイルス感染症の相談に応じる体制を構築する。
- 新型コロナウイルスの感染拡大に伴い、児童福祉施設等の職員が抱える不安やストレスを軽減するため、メンタルヘルス相談を実施する。

(3) 県負担・補助率の考え方

国1/2 県1/2

(4) 類似事業の有無

無

3 事業費の積算 内訳

| 事業内容 | 金額 | 事業内容の詳細 |
|------|-----|-----------------------------|
| 委託料 | 921 | 感染防止対策等相談窓口の設置、メンタルヘルス相談の実施 |
| 合計 | 921 | |

決定額の考え方

| |
|--|
| |
|--|

4 参考事項

(1) 国・他県の状況

- ・児童虐待・DV対策等総合支援事業費補助金

事業評価調査書（県単独補助金除く）

新規要求事業

継続要求事業

1 事業の目標と成果

（事業目標）

・何をいつまでにどのような状態にしたいのか

児童養護施設等において、新型コロナウイルス感染症への対応力を底上げし、継続的なサービス提供を実施していく必要がある。

（目標の達成度を示す指標と実績）

| 指標名 | 事業開始前 (R) | R3年度 実績 | R4年度 目標 | R5年度 目標 | 終期目標 (R) | 達成率 |
|-----|--------------|------------|------------|------------|-------------|-----|
| | | | | | | |
| ① | | | | | | |
| ② | | | | | | |

○指標を設定することができない場合の理由

新型コロナウイルス感染症の感染拡大を予測することができず、その都度必要な対策を柔軟かつ迅速に実施する必要があるため。

（これまでの取組内容と成果）

| | |
|---------------|---|
| 令和 2 年度 | <p>感染防止対策等相談件数は12件、メンタルヘルス相談件数7件の相談実績があった。</p> <p>児童養護施設等において、新型コロナウイルス感染症への対応力を底上げし、事業継続を行うことができた。</p> |
| 令和 3 年度 | <p>感染防止対策等相談件数は12件、メンタルヘルス相談件数1件の相談実績があった。</p> <p>指標① 目標：___ 実績：___ 達成率：___ %</p> |
| 令和 4 年度 | <p style="color: red;">令和6年度当初予算にて追加</p> <p>指標① 目標：___ 実績：___ 達成率：___ %</p> |

2 事業の評価と課題

(事業の評価)

| | |
|--|---|
| <ul style="list-style-type: none"> ・ 事業の必要性(社会情勢等を踏まえ、前年度などに比べ判断) 3:増加している 2:横ばい 1:減少している 0:ほとんどない | |
| (評価) 3 | 新型コロナウイルス感染症が「警戒を緩めることができない」状況にあり、県民の健康被害を最小限に抑える上で、県内感染拡大防止のための取り組みが必要である。 |
| <ul style="list-style-type: none"> ・ 事業の有効性(指標等の状況から見て事業の成果はあがっているか) 3:期待以上の成果あり 2:期待どおりの成果あり 1:期待どおりの成果が得られていない 0:ほとんど成果が得られていない | |
| (評価) 2 | 新型コロナウイルス感染症により、虐待を受けている子どもを初め、要保護児童が児童福祉施設等へ入所できなくなることがあってはならないため、児童福祉施設等への支援が必要である。 |
| <ul style="list-style-type: none"> ・ 事業の効率性(事業の実施方法の効率化は図られているか) 2:上がっている 1:横ばい 0:下がっている | |
| (評価) 2 | 県内児童福祉施設等のニーズや現状の把握に努め、必要な支援を実施していく。 |

(今後の課題)

| |
|---|
| <ul style="list-style-type: none"> ・ 事業が直面する課題や改善が必要な事項 新型コロナウイルス感染症の感染拡大を予測することができず、その都度必要な対策を柔軟かつ迅速に実施する必要がある。 |
|---|

(次年度の方向性)

| |
|---|
| <ul style="list-style-type: none"> ・ 継続すべき事業か。県民ニーズ、事業の評価、今後の課題を踏まえて、今後どのように取り組むのか 県内の感染状況や国の対策など、刻一刻と変化する情勢を的確に分析し、必要な対策を柔軟かつ迅速に実施していく。 |
|---|

(他事業と組み合わせて実施する場合の事業効果)

| | |
|----------------------------|-------|
| 組み合わせ予定のイベント 又は事業名及び所管課 | |
| 組み合わせる理由 や期待する効果 など | 【〇〇課】 |